

四日市市立朝明中学校
3年生学年通信
平成30年10月9日(火)

その38 文責(浅野)

定期テスト・実力テスト

～すべてが受験勉強！この1カ月の勉強法が大きなポイント～

中間テストが終わって、さあ文化祭！とも言いたいところですが、みなさんは受験生です。安心もしてられないことはみんなも分かっていますね。今回の中間テストが返ってくるまでのこの3連休に、先日返した**第2回の実力テストの見直し**できたでしょうか？そして来週には**第3回実力テスト**、来月は**期末テスト**が控えています。その後、**運命の三者懇談会**。今日、**進路希望調査**が提出となっています。意思がしっかりと固まっている人とまだまだ迷っている人とさまざまですが、どちらにしてもこの1カ月の勉強は大切になってくる！うるさいようですが、うるさく言います！

実力テストと定期テストとの違いは？

決定的な違いはやはり出題範囲でしょうか。簡単にいうと、中学生が受ける定期テストでは範囲が比較的狭く、例えば「2学期の間に習った内容のみ」であるなど、その出題される内容の幅が、ある程度限定されています。それに対し、実力テストでは、小学生、中学生と今まで積み重ねてきた内容を、すべてひっくるめたもの（1回～4回に範囲がそれぞれありますが、基本的には入試範囲）が出されるため、非常に範囲が広いといえますね。当たり前のことですが…

また、「定期テストでは点が採れるが、実力テストは伸び悩む！」という人も多いと思いますが、定期テストは範囲が狭いので、覚えるべき肝心な部分をクリアすれば、点数を取れる場合が多いです。例えば数学などの場合、その内容を完全に理解せずとも、公式などで、パターンを覚えてさえいれば、それに当てはめて、比較的簡単に問題を解くことができる場合もあります。実は**ある程度問題の予測がつく**のです。

対する実力テストでは、出題範囲が広いことから、**基礎的な学力がものをいう**ため、単に的（まと）を絞って勉強をするだけでは点数にはつながりません。つまり、定期テストで点数が良くて、実力テストで点数が悪いという人の場合、その基礎学力に問題があると判断することができるかもしれません。時には、「ばかばかしい」と思えるほど簡単な問題を解き続ける（シート学習などを繰り返す）こともいいでしょう。とにかく、基礎を固めないと応用問題は解けません。難しい問題集ばかりではなく教科書を見直し、もう一度初心に戻ってベース作りをすることも大切です。何事も「**うわべ**」だけではいけないということです。

結局「実力テスト」と「定期テスト」必ずしも、どちらの方が大切ということはありません。基礎学力を高め、力をしっかりつけることが、「受験勉強」であり、高校受験成功の近道となることは間違いのないようです。

定期テストと実力テストをつなぎ合わせて勉強する

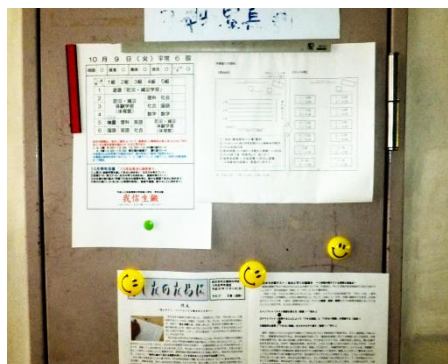
1年生から今までに受けてきた中間テストや期末テスト、実力テストなどを教科別にファイルにして綴っておくととても役立ちます。もちろん間違い場所はしっかり赤で修正しておくこと。**学校の先生が作成したテストは、過去の入試に出題された問題から、「重要」と思われるところを問題にしている**ことは当たり前。こんな有難い教材はない！

今までのテストを教科別にファイリングしておく、3年生の実力テストの下調べにとっても便利です。**実力テストの結果個票**をよく研究して、弱い単元を発見して、過去の定期テストを見直すのです。

実力テストは出題範囲表が出ていますが、中間や期末テストのすぐ後に行われる場合も多く、なかなか下調べする時間がありませんね。そういうときに今までのテストファイルにさっと目を通すことで、ある程度の下調べになります。また、新しい問題集などと違い、出題内容になじみがあって思い出しやすいのです。

成績を上げるためには、「**今まで間違っていたり解けなかった問題が解けるようになる**」ことの積み重ねが必要です。定期テストの時は間違った問題でも、実力テストで正解できれば、それは成績アップにつながっていきます。

実はテストでは皆さんが思っている以上に、**繰り返し同じような問題が出題されている**のですよ。解けないまましていると、何回もそれに引っ掛かって減点され続ける場合がよくあるのです。



職員室前にある室長さんの連絡コーナーにいつも月目標と学年目標を掲示しています。室長さんは毎日ここで、時間割を確認し、学級の人々に伝えるべき大切なことをしっかりと書きとっているのです。

きっと、10月の目標も各学級の後ろの黒板に大きく書かれ、常に学級の人々が意識できるようになっていることでしょう。すでに前期室長さんから連絡があったと思いますが、改めて10月の目標を紹介しておきます。

10月学年目標 「10月は自分と向き合う」

- ①人間力（進路学習を通して自分と向き合い、生き方を考えていく）
- ②定期テスト・実力テスト（自分の学力を向きあい、進路を考えていく）
- ③文化祭の取り組み（学級での自分の役割を考え、様々な場面で自分と向き合う）
- ④休日の過ごし方（まとまった時間を利用し、勉強や運動、様々なことに向き合う）

受験生のみんなに贈る有名人の名言集 34 2019年度公立高校後期選抜入試まで 153日/卒業まで 94日

“Luck is a matter of preparation meeting opportunity.”

訳「準備万端の人にチャンスが訪れることを幸運と呼ぶの。」

米国の女性テレビ司会者、女優オブラ・ウィンフリーの言葉。幸運が訪れるような努力をしていきたいものです。

✓CHECK Preparationは「準備」、opportunityは「～の機会、目的」



ケータイ・スマホ安全教室

5日（金）の5限目に全校でKDDIの講師の方に来校していただき「ケータイ・スマホ安全教室」が行われました。正しい使い方や、もしもの時の対応の仕方など、実際に起こった事件例を元にお話ししていただきました。みなさんも生活の一部となっている人も多くいると思いますが、今回のお話で印象的であったのが、「危険だと分かっているけどいつの間にか…」「ちょっとした注意があれば…」ということです。決して他人事ではないのです。使用している以上、誰もが危険と隣り合わせであることを忘れてはいけませんね。